



令和元年9月吉日

はまつこと共に



射水市立新湊小学校

暑い、熱い第2学期が始まりました

校長 森 悦郎



暑かった夏休みも終わり、いろいろな思い出を胸に、遅しくなって子供たちが新湊小学校に戻ってきました。全校児童270名で第2学期が始まりました。始業式では、各学年の代表が2学期に頑張りたいことをしっかり発表しました。私からは、夏の甲子園で活躍できた高岡商業高校や星稜高校の共通

点について伝えました。それは、「失敗は怖くないこと」「やる気があること（前向き）」「どんなときでもあきらめないこと」と、そして「笑顔」です。そんな両校のよさが2学期の新湊小学校にも広がることを願うばかりです。

また「はまつこ」で行動レベルの目標を確かめました。

「は」：ハキハキと元気なあいさつ、相手に返してもらえる挨拶を目指そう！

「ま」：学ぶ、まねる、守る。何事もスタートが大切です。学校や教室のルールやマナーを守り、その中で楽しむ自由を学んでもらえたらと思います。

「つ」：伝える、つなぐ、続ける。「ライバルは昨日の自分」「昨日の自分を超える」という気持ちを持ち続けることです。学習やスポーツで、「昨日の自分より成長している、頑張っている」と言える自分であること、例えば「挨拶が昨日より上手になったよ」「音読が上手になったよ」「友達によさをたくさん見付けることができたよ」等を問い続ける2学期にしてほしいと思います。

「こ」：心豊かにです。感謝と感動（心を揺り動かす：わくわくドキドキ）です。感動する場面は、二つの立場にいる人に力と幸せを与えます。一つは目標に向かって努力している人、もう一つはそれを心から応援する人です。クラスの仲間で、頑張っている人がいたら、それを応援したり一緒に喜んだりする人の両方によいことがあると思います。

併せて第1学期の終業式で出した「皆さんにとってやる気が出るスイッチは何ですか。そのわけを教えてください」の宿題の確認をしました。子供たちのやる気が出るスイッチについては、裏面で紹介します。

第2学期は、「昨日の自分自身より成長したか否か」を子供たちに問い続け、「感動を仲間と共有できるはまつこ」を目指したいと思います。



クリーン作戦&PTA資源回収 ご協力ありがとうございました



8月25日(日)に本校の清掃活動(クリーン作戦)と資源回収(リサイクル活動)を子供たちと保護者の方々で行いました。スポーツ少年団の試合等があったにもかかわらず、スポ少のユニホーム姿で作業に加わる子供たちを見て、心がほっこりしたのは私だけでないようです。クリーン作戦には児童171名、保護者181名が参加し、気持ちよく第2学期を迎えることができます。

また、リサイクル活動には、106名の児童が協力しました。特に低学年の児童が、親御さんと一緒に、重い新聞を運ぶ姿が早朝の清々しさに負けないうらいに素敵でした。クリーン作戦は、日頃お世話になっている校舎への感謝の気持ちを表す機会と捉え、保護者の方々のご協力を得て、子供たちが一緒に取り組むべき活動だと個人的には考えています。主旨をご理解いただき、多くの方々が参加されたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

はまっこのやる気が出るスイッチ(言葉)は? ~子供たちの答えは?~

どの児童も今までの自分自身を思い出して、書いていました。概ね8種類に分けられました。

- 1 応援、エール：がんばれ。がんばってね。
 - 2 しっかり評価：がんばったね。がんばっているね。すごいよ。
 - 3 信頼：あなたならできる。やればできるよ。自分で決めたことを信じて。
 - 4 感謝：ありがとう。本当に助かったよ。
 - 5 協力：一緒にやろう。一緒にがんばろう。
 - 6 目標の提示：あと〇〇ページで終わりだ。みんなで勝つぞ!
 - 7 感化(自分の心の声)：友達がかんぼっているから自分もやる。あんな風になりたいな。
 - 8 慰め：誰にも失敗はあるよ。次を目指してがんばろう。
- 

言葉をかける相手との関係もありますが、概ね子供たちは、認められ、応援されることでやる気のスイッチが入るようです。ご家庭でも、お子さんの真剣な様子を見て、言葉かけをしてくださるとありがたいです。

特徴的な答えを紹介します。

- 1 年A児：私は朝、学校に行くために電車に乗るときに、ママの「今日もがんばれ」の言葉でスイッチが入ります。
- 2 年B児：みんなが頑張る姿を見たり、誘ってもらったりすると、私も頑張れます。
- 3 年C児：新しい何かができるとき、次も何でもできると思い、やる気がでます。
- 4 年D児：朝、学校にきて、みんなの顔を見て楽しく話をするのが、私にとってのやる気スイッチです。
- 4 年E児：授業中に自分の言葉で意見が言えたとき、うれしくなりスイッチオンです。
- 5 年F児：クラブの先輩に演奏できなくて困っていたら、「何回もやればできるよ」と言われ、やる気が出ました。
- 5 年G児：スポーツで競争しているとき、相手に絶対に負けたくないから入ります。
- 6 年H児：仲間から「一緒にがんばろう」と言われると、一人ではなくみんなでがんばっている気持ちになれます。
- 6 年I児：母から、「自分が何かをやろうとしないと、何もできない」と励まされたときです。